

広 報



さくら

第52号

令和元年11月1日発行

発行 小千谷さくら病院

発行責任者 中山 克成

編集 広報委員会

第19回さくら病院祭

台風15号の爪痕が残る千葉県の様子がニュース等で放映されるなど、不安定な気候が続くなか、10月2日(水)に19回目となる「さくら病院祭」が、午後2時からリハビリ棟を主会場に外来ホール、第1病棟の食堂にて行われました。

当日は天候にも恵まれ、外来ホールでは「ボール投げ」「ヨーヨー釣り」のゲームを楽しみ、第1病棟ではお祭りには欠かせない「綿菓子」やコーヒー等の飲み物などで喉を潤していました。

主会場のリハビリ棟では Zashikiwarashi 様によるギターと尺八の演奏に合わせて、患者様、ご家族様から掛け声などで会場を盛り上げ、楽しい時間を過ごしました。

また、「お楽しみ上映会」と称して、患者様の映像をスライドショーで流し、ご家族様に普段の様子を観て頂きました。時間の関係もあり患者様全員の様子を上映することが出来なかったこともあり、「自分の映像も流して欲しい」「自分の様子を長く上映して欲しい」等の要望があり、今後の参考にしたいと思います。

今年の病院祭もたくさんの参加を頂き、無事に終了することが出来ましたことを、皆様に厚く感謝申し上げます。

最後に台風19号により被災されました皆様にお見舞い申し上げます。

さくら病院祭実行委員長(事務長) 中山 克成



小千谷さくら病院の理念

自分なり家族や友人が利用したい病院づくり

副院長就任にあたって

この度、副院長に就任致しました出塚と申します。

当院の前身である西小千谷病院の閉院直前に新潟市民病院から赴任して若林前院長の下に配属となり、以降小千谷さくら病院で閉院時より働かせて頂きましたが、新潟市民病院でかつて上司であった現山崎院長の下で再度働かせて頂くという奇しき縁にとても驚いております。

西小千谷病院時代より中越地区における難病医療に携わることとなり、当地の医療情勢はそれなりに理解しておりますが、社会情勢の変化に伴って医療情勢も日々刻々と変化しています。そんな中でいかに患者さん方が安定した環境で、少しずつでも生きがいを見出しながら穏やかに療養できる環境を造っていかれるかが、当院の最も重要な役割ではないかと考えております。私自身は微力ではありますが、山崎院長の下で些少ながら皆様に貢献できればと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。

副院長（脳神経内科） 出塚 次郎



脳神経内科 関根 有美（せきね ゆみ）医長が 小千谷さくら病院へ着任されました

2019年4月1日より当院に勤務しております。

慢性期の医療に携わり、患者さんの内に秘めた人生を楽しむ力を、じっくり引き出せるよう学びたいと思います。

特に、今後の目標として、音楽療法を学び、できたら音楽療法士の資格も取得したいと思っております。リハビリスタッフの方々のセッションに加えて頂き、ご指導頂きながら実践する場を持てるのは、当院ならではの恵まれた環境です。病棟の担当患者さん以外にも、何かお役に立てることがあったら嬉しいのですが、まだ力不足で申し訳ありません。特に、ピアノ演奏については、少しずつスキルアップできるように頑張ります。職員で音楽好きの方がいらしたら、是非一緒に演奏したりして、患者さんと関われば嬉しいです。一人の力では叶わないことも、何人かで行うと変わってくると感じています。

どうぞ宜しくお願い致します。

脳神経内科医長 関根 有美



リハビリテーション室の取り組みを紹介します

ハンドベル演奏会を開催しました！！

3月に行った発表会が好評だった為、第2回発声集団のハンドベル演奏会を8月7日に開催しました。

今回の演奏会では、若林先生、関根先生にも参加して頂き、「Over The Rainbow」「きらきら星」の2曲を延べ3カ月間練習し、ハンドベル、打楽器で演奏しました。緊張した表情の中演奏が始まり、終わると大勢の方から拍手を頂き、参加者全員満足そうな表情をしていました。

次の発表会に向け練習したいと思っています。



言語聴覚士 桑原 一美

作業療法では集団音楽療法を行っています！！



作業療法では、毎週水曜日の午前中に患者様10名前後のグループを作り音楽療法を行っています。

年齢を重ねていくと、元気に活躍されていた当時の記憶や思い出はとても大切なものです。音楽を聴いたり唄ったりする中で、そんな当時の思い出や記憶を呼び起こし、感情を膨らませながら、参加者全体で共有・共感することで一体感を感じてもらいます。

“楽しかった” “気持ちよかった” “嬉しかった” “また来たいね” と思って頂けるような会となり、患者様の療養生活の素敵な活動参加場面となるように職員みんなが計画して協力しあいながら取り組んでいます。

作業療法士 前田 吉郎

3病棟レクリエーション

～ひまわりの生長を患者様と共に～

皆さんは、1日の内でどれ位の時間を笑顔で過ごされているでしょうか？

ここ例年、病棟屋外にて患者様と共に季節に応じた花の種・球根を植え、成長の過程を楽しんでいます。中でも元気いっぱい「ひまわり」の笑顔と患者様の笑顔は最高です！笑顔でいられる時は、患者様が唯一自分の病も忘れ、皆が元気でいられる瞬間であると



感じています。ひまわりの花言葉は「私はあなただけ見つめている」これは、太陽の動きを追うように動くことに由来しています。太陽に会いたいようと、さくら病院の皆を明るく笑顔で見守ってくれています。

これからも、“ひま”を見つけて畑を“まわり”、沢山の花と笑顔を増やしていきたいです。

3病棟 介護福祉士 廣川 伸哉



中学生 職場体験受け入れ

今回も、数名の中学生が当院で職業体験を行いました。

「看護師になりたい」「リハビリに興味がある」「病院は、どのような職業の人が働いているのだろう」等、どの学生も疑問や目的を持って参加されていました。病棟では、シーツ交換や食事介助や入浴介助の見学、患者様とコミュニケーションを図りました。

今までは、看護師がメインの体験が主でしたが、今回は事務やリハビリの見学にも入ってもらいました。学生は、緊張しながらも、医師や職員の話真剣に聞いている様子も見受けられました。

今回の体験を少しでも将来の役に立てていただければ幸いです。

1病棟 看護師 村山 ひとみ



高校生 一日看護師体験

今回3名の高校生が看護師体験に来てくれました。

みなさんととても明るく、積極的で何よりも患者様との触れ合いを喜んでくれたのが、とても印象的でした。中でも、(患者様から承諾を頂き)清拭ができたことが嬉しかったと言ってもらい、私まで嬉しくなりました。

将来、医療・看護の現場で活躍する彼女達に、またいつか会えることを願っています(^)

2病棟 看護師主任 蛭澤 みゆき



編集後記

暑い夏が終わり、過ごしやすい秋になるかと思っていたところに台風19号が上陸し、日本の各地に甚大な被害をもたらしました。本県も例外ではなく冠水等の被害を受けたところも多いようです。

当病院では日ごろから各病棟の防災委員を中心とし様々な対策を行っています。年2回春と秋には防災避難訓練もおこなっており、広報でその様子をお伝えしたいと思っています。
(覚張 記)



社会福祉法人長岡福祉協会
小千谷さくら病院

〒947-0041 新潟県小千谷市小栗田2732番地
電話(代表) 0258-83-2680
FAX 0258-83-4416
URL <http://www.sakurahp.com>
E-mail info-01@sakurahp.com
広報委員 中山 克成・風間 麻代・覺張 正樹
下村 健・山崎 厚子・伊佐 純子